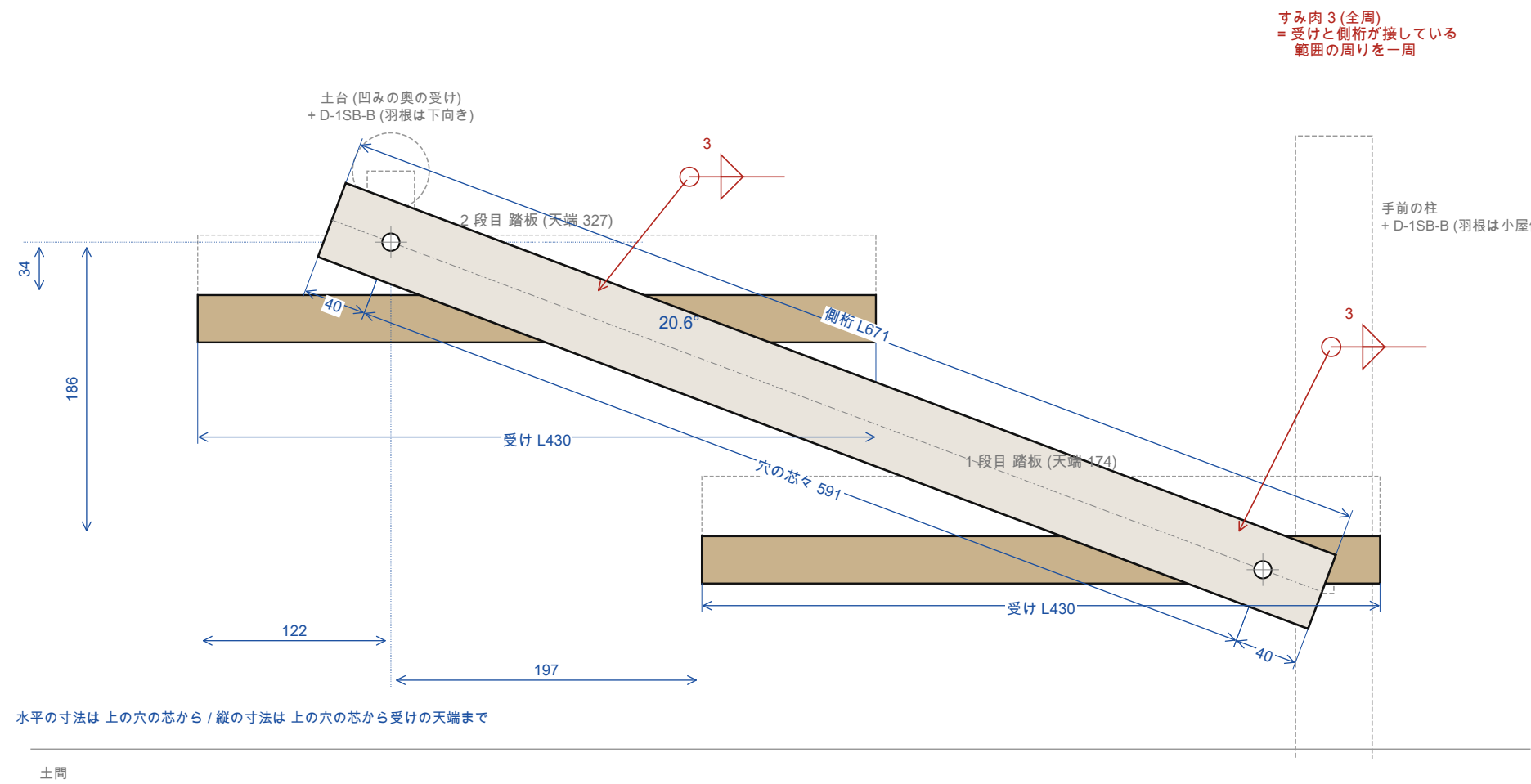


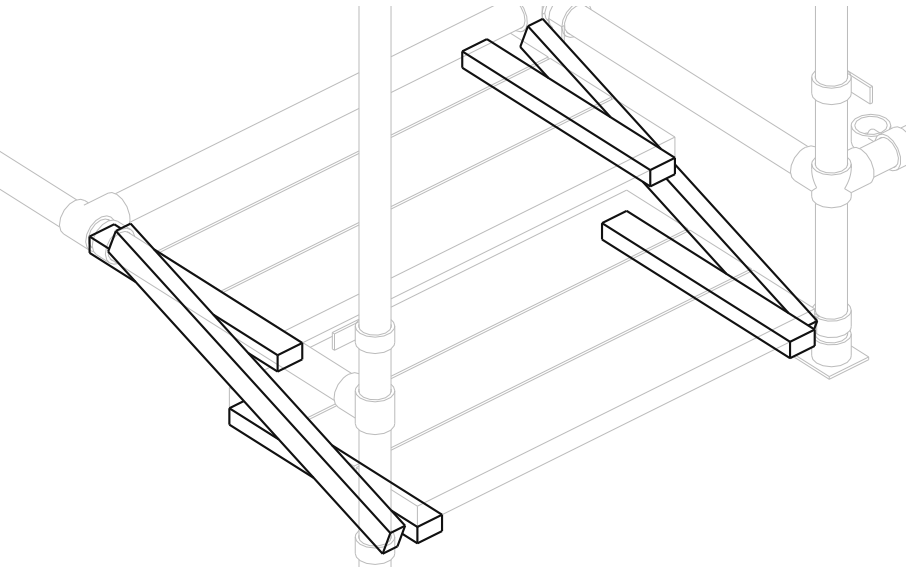
階段 溶接フレーム 製作図

角パイプ 50×30 t1.6 (黒塗装)。左右 1 組ずつ (勝手違い) = 側桁 1 本 + 受け 2 本。単位 mm。高さは土間の左端 = 0

① 側面図 (左の側桁を内側から見る。右の側桁は左右対称)



④ 立体 (黒 = 溶接フレーム)



⑤ 部材 (1 台分 = 左右 2 組)

記号	部材	長さ	数	加工
K8	側桁 50×30 t1.6 (縦使い)	671	2	直角切り / φ11 穴 ×2 (端から 40)
K9	受け 50×30 t1.6 (横使い)	430	4	直角切り / 側桁の内側に溶接
M10	ボルト × 60 + ナット + ワッシャー 2		4	側桁 → D-1SB-B の羽根
	角パイプ用キャップ 50×30		12	端を塞ぐ (端板の溶接でも可)

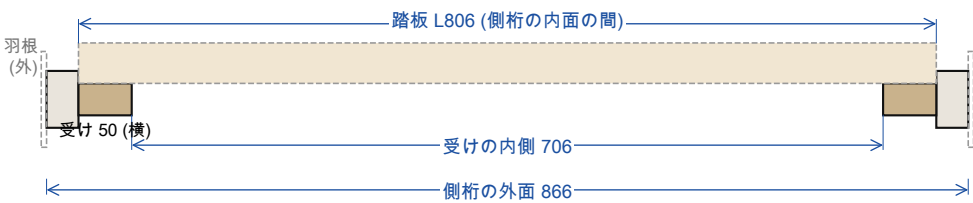
材料: 角パイプ 50×30 t1.6 計 3,061 (切断表の K8・ K9)

② けがき (側桁の内側の面に、受けの位置の線を引く)

	上の角	下の角
2 段目 受けの天端 (高さ 289)	202	69
2 段目 受けの下端 (高さ 259)	287	154
1 段目 受けの天端 (高さ 136)	637	504
1 段目 受けの下端 (高さ 106)	端を越える	589

数字 = 側桁の上端 (小屋側の端) から、角に沿って測った長さ。
2 点を結んだ線が水平の線 (受けの天端・ 下端) になる。
"―" は角の線と交わらない (受けが側桁の上端より奥に出る)

③ 断面 (手前から見る、1 段目の受けの位置)



⑥ 作り方・ 注意

- 骨組みより先に作って OK。D-1SB-B は土台・ 柱に沿って動かせるので、取り付け時にリングを穴に合わせる
- けがき (②) → 受けを当てて仮付け → 水平・ 直角を確認 → 本溶接
- 溶接: すみ肉 脚長 3、受けと側桁が接する範囲を全周。t1.6 は溶け落ちやすい
→ 電流低め・ 短く刻んで左右交互に (ひずみ防止)
- 受けの天端は水平 (水平器)。左右の受けの天端の高さをそろえる
- 穴の部分はボルトの締めすぎで潰れやすい → 内側に φ16 のスリーブを
入れて溶接するか、ワッシャーを大きめに
- 端はキャップか端板で塞ぐ。側桁の下端の下面に φ6 の水抜き穴
- スパッタを落とし、錆止め → 黒で塗装してから取り付け
- 踏板 (防腐 2x6 × 3 枚) は受けに上からステンレス羽根付きドリルビス 5×65 (1 枚・ 1 が所 1 本)